

広報

えりも

2011

4月号 №.869



えりも岬漁港防波堤岸壁に描かれた壁画の前で記念撮影

思い出の壁画完成

えりも岬漁港の岸壁に

三月四日、えりも岬小学校（松井伸樹校長）の全児童二十一人が、えりも岬漁港の防波堤岸壁に壁画を描き、完成を祝って記念撮影をしました。

この壁画は、えりも漁協えりも岬事務所が「子どもたちに思い出を残そう」と、同校にもちかけて始められ、昨年十一月から作業を開始しました。教員や保護者、漁協青年部も協力して進められ、児童たちは足場を組んでの色塗りに挑戦しました。

縦三・五段、横十段の壁画には、イルカやクジラを中心にタコやコンブなどが描かれ、ほほえましいものとなっています。



保護者や漁協青年部などの指導を受けながら、色塗りをする児童たち。

災害に遭われた方には、道税の減免措置があります。詳しくは、11ページをご覧ください。また、日高信用金庫では、今回の震災で被害を受けた方を対象とした「災害復旧ローン」の取扱いを始めています（17ページ掲載）。



多くの家屋などが被害を受けた

突然の津波襲来

東北地方
太平洋沖地震
町内全域に被害

三月十一日午後二時四十六分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード九・〇の地震があり、東北地方を中心に大きな津波が到来し、えりも町も家屋や漁業関連などに大きな被害が発生しました。

今回の地震で、えりも町は震度二を記録。津波は本町地区で三・二四メートル、庶野地区で三・五メートルを観測しました。三月二十二日現在で、漁船は転覆も含め百三十隻、住宅・小屋などの床上・床下浸水、コ

ンブ干場、漁港に駐車中の車などが津波被害に遭い、ウニ種苗センターやえりも漁港の製氷施設のほか、栽培センターでもハタハタの卵が全滅しました。また、新浜地区では、海岸擁壁が倒壊したことが被害を大きくしました。各地区の避難所には、四百十人が避難し、不安な二日間を過ごしました。



漁船も道路に打ち上げられた



波で川が逆流し、上を通る道路が浮いた本町沢町

映像のご提供のお願い

今回の地震・津波の映像を、えりも町の記録として残したいと考えています。写真やビデオを撮影した方は、役場広報係（☎二一四六一二）までお知らせください。お借りした映像は、複製した上でお返しいたします。



私のひごと

かぜのまち

えりも町長 岩本溥叙

東日本大震災

このたびの「東北地方太平洋沖地震」で東北地方を中心とした地域におきまして、多くの人命が失われ、甚大な被害に遭われました被災者の皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、町内におきましても、被災されました町民の方々に對しましても、併せてお見舞い申し上げます。

巨大地震、大津波。そして原発の「安全神話」の崩壊。被災地の惨状、放射性汚染の危機。等々の活字が連日紙面を飾る。日本はどうなるのだろう。北海道は、えりも町はと、考える日々であります。しかし、当町の被災からの対応は、地域の皆さんの団結と協力によりまして、活気が戻りつつあります。安堵感を東北地方等の復興とともに願うものであります。

二月二十五日、交通安全意識の高揚を図り、えりも町から悲惨な交通事故と犠牲者を出さないようにしようとして、「第四十一回えりも町交通安全住民大会」が福祉センターで開かれ、二百十人が参加しました。

開会式の挨拶で岩本町長は、昨年十一月に交通事故死ゼロ千五百日を達成し、道知事や道交通安全推進委員会から感謝状が贈られたことに触れながら、「大会開催日の今日で千六百日を達成しました」と述べ、町民総出で交通安全に取り組んでいる成果を称えながら「次は二千日という目標に向かって、一層気を引き締めていきましよう」と参加者に呼びかけました。

表彰式では、坂田成哉さんが商工会青年部長として車両パレードや旗の波作戦などの交通安全運動に取り組んできた功績が認められ、交通安全功労者表彰を受賞しました。また、永年無事故優良運転者表彰には、航空自衛隊襟裳分屯基地の隊員十一名が受賞し、地区別交通安全無事故実践大会表彰は、えりも岬地区が受賞しました。

交通安全作文コンクール特選者には、中村大器さん（えりも小六年）、川崎悠太郎さん（えりも中二年）、中

交通事故死ゼロ二千日を目指して



澤圭太さん（えりも高校三年）が選ばれ、表彰のあとにはそれぞれの作文を会場で発表しました（※大会で発表された交通安全作文は、今月号と来月号の二回に分けて掲載します）。

続いての交通安全講話は、落語家・春雨や雷蔵（はるさめやらいぞう）さんが登場しての「交通安全落語」。ボケの予防が交通安全につながるとして、右手で丸を描きながら左手は四角を描く「ボケ防止体操」を提案しました。早速、交通安全協

会長の坂田知也さんが参加者代表として挑戦し、見事成功すると、会場から拍手が贈られました。落語はその後、老夫婦が新婚旅行当時の行動を再現しようとしたことで起きるハプニングを面白おかしく話し、会場は笑いに包まれました。

最後に新成人を代表して、野阪亮太さん（町職員）が「交通事故のない明るく住みよいえりも町」の実現に向けて宣言文を読み上げ、本大会を締めくくりました。

交通安全作文コンクール特選

意識すべき交通安全

えりも高校三年 中澤圭太

私のように今年から自動車免許を取得する人たちにとって、最も意識しなければならないことが「交通安全」についてであると思えます。



今の時期のように、雪が降ったり、道路に氷が張っている時に、最も注意すべきです。更に、えりも町のように風が強く、今年のように雨や雪が多く降るような場所において、「交通安全」について、意識を高める運動をしなければならないと思います。

通学途中に何度か、パトカーがシートベルトの着用、飲酒運転、居眠り運転防止を呼びかける放送を流しながら走っているところを見かけたことがあります。しかしながら、それを見た直後は意識するものの、時間が経てば忘れてしまい、長い効果はほとんど望めません。ですか

えりも町交通安全住民大会

加入しましょう！ 交通災害共済

1人500円です！

車社会といわれる現代において、交通事故は決して他人事ではありません。万が一に備えるだけでなく、交通安全意識の高揚のためにも、ご家族そろって加入しましょう。

◆共済期間

4月1日～翌年3月31日
※途中加入は、加入日から3月31日まで

入院・通院日数	見舞金額
死亡	800,000円
101日以上	100,000円
31日～100日	50,000円
30日以下	30,000円

- 自転車での事故も対象になる身近な制度です。
- 交通事故で1日以上通院した場合から支給されます。
- 加入後、管外へ転出しても事故の場合の見舞金は支給されます。
- 世帯主がえりも町に在住していれば、学生は町内に居住していなくても加入できます。

加入申し込みは、役場町民生活課（☎2-4621）まで。

ら、もつと人々にインパクトを与えることが出来るものを考えていくべきです。テレビでよく見るような、人の模型を本物の車に乗せて、とても速い速度で勢いよく壁などの障害物に激突した瞬間の衝撃を計る衝撃実験などを、多くの人々の目の前で実際に行うなど、印象に残りやすい方法を考えていくべきであると思います。

そして、冬が明け、春・夏になると、常に地面に張っている氷や雪に気をつけなければいけない緊張から解放され、どうしても油断してしまいます。更に、えりも町は野生の鹿がとても多く、夜とても暗い中で山沿いの道路を走っていると、鹿が飛び出してきてひいてしまうという事故があり、不運にも飛び出してき

のが雄鹿で、ひいた時に角がフロントガラスを突き破って体に刺さり、そのまま亡くなってしまった事故があったというのを聞いたことがあります。このような悲惨な事故を防ぐためにも、運転する人の意識を高めなければなりません。ですが、こういった暗い夜の山道は、注意するよりも、できる限りその時間帯には走らないようにするのが事故を起こさない最善の方法だと思います。

「交通安全」と言っても、自動車を運転する人だけが気をつけるものではありません。自転車や歩行者までもが気を付けなければなりません。私は小学生のとき、一度家の近所で自転車で遊んでいる最中、車にひかれそうになったことがあります。そのときは、自転車の前輪だけが車

にぶつかり、大事に至らなくて済みました。もしそのままひかれていたらと思うと、とても恐ろしくてたまりません。そしてそれ以降も何度も同じようなことになりました。これも、自分の意識の低さから起こってしまったことだと思います。

そして、このような小さな町ではよく、路肩に車が止まっていたり、横断歩道が少ないため、それが無いところでも人が渡っていたりとても危ない光景をよく目にします。

「車が少ないから」などという甘い考えや油断が事故につながってしまった。又は起こしてしまいう大きな原因であると思っています。

私はこの文中で「冬の時期に最も注意すべきです。」と述べましたが、この作文を書いていく中で、ある時期や時間帯あるいは移動方法だけではなく、いつ、何時も自分の周りには危険がつきまとい、「交通安全」の意識を忘れずに過ごさなければいけないということを忘れないことが最大の目標ではないかと思えます。

「交通事故」は起きてしまつてからではどうにもできません。ですから、起こさないためにもこれから自動車学校で学んできていること一つを大切にしていこうと思います。

来月号では、同じく特選の中村大器さん、川崎悠太郎さんの作品を掲載します。

三月定例町議会

三月定例町議会が三月九日に招集され、十八日までの十日間にわたり開催されました。今月号では、一般行政執行方針と教育行政執行方針を要約して掲載します。

■ 一般行政執行方針

1 たくましく活力あるまちづくり

(農業の振興)

農業・農村をめぐる情勢は、WTO農業交渉、EPA交渉に加え、TPPの参加が検討されており、予断を許さない状況にあります。更に、相次ぐ局地的大雨や記録的な高温に伴う全道的な農業被害、宮崎県で発生した口蹄疫の防疫対策、農業基盤整備予算の大幅な削減など、依然として厳しい環境下にあります。

このような状況の中で、昨年のホクレン北海道家畜市場では、当町生産の肉牛六百四十頭が約二億五千七十万円の販売実績となり、前年比一三・一％増で、一頭当たりの平均価格も三十九万一千円と前年比一〇・一％増での取引となつていきます。こうしたことから、肉牛の消費拡大を目的に、本年度も引き続き草地化している町有牧野の肥培管理をし、良質の粗飼料を生産する考えであります。

(林業の振興)

森林は、国土の保全、良質な水の供給のほかに、保健休養・教育の場の提供、更には生物多様性の保全など公益的機能の維持増進、また、二酸化炭素の吸収源として地球温暖化防止などの機能を持つことから、今後も適切な整備と保全を引き続き行っていきたいと考えています。

緑化事業については、春に「えりもワクワク森林づくり事業」、秋には「えりもイキイキ森林づくり事業」として、針葉樹から広葉樹への転換に向けて、保育事業を行っています。いずれの事業も、町民の協力を得ながら進めたいと考えていますので、ご理解をお願いします。



昨年の「えりもワクワク森林づくり体験事業植樹祭」

更に、中高一貫教育の中でも、日高南部森林管理署の指導とひだか南森林組合の協力を得て、生徒に緑化事業の体験を通して、森林の大切さを学んでほしいと考えています。

森林基幹道「えりも線」については、引き続き道路改良を進めると共に法面改良事業も実施し、本年度で工事を終了する予定です。

シカの被害については昨年十月、管内に日高鳥獣被害防止対策広域協議会を発足させ、各町連携のもと被害対策に当たることとしています。本年度は管内一斉駆除の実施やハンターに対する報償費等の管内統一化を図り、生息数の減少に向けて努力します。更に、ひだか東農業協同組合と連携し、国の補助事業で電気柵を設置するなどの対策も講じていきます。

(水産業の振興)

国内の景気は、依然足踏み状態と言われ、更に、TPPの参加問題もあり、漁業経営の先行きには、依然として不透明感が漂っています。一方で、食品全体に求められている食の安全・安心への対応など、多くの課題が山積しており、厳しい状況にあります。

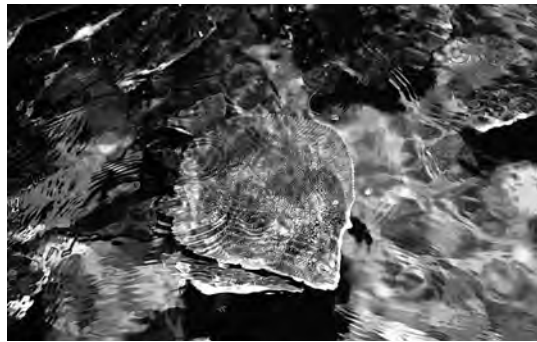
このため、主要産業であるコンブ漁業の更なる安定を図るため、継続して水域環境保全創造事業を進めるとともに、昨年に引き続き歌別地区に漁場造成し、コンブ資源の生産拡大に努めます。また、コンブ輸入割当・IQ制度の堅持についても、道内関係機関と連携し、強く求めていきます。

また、本年度は近笛・本町の両地区に、磯根資源であるフノリの魚場を造成します。

「えりも栽培センター」では、昨年同様六月下旬からマツカワ稚魚・四十四万尾を搬入し、中間育成後に八月下旬から当町海域での十一万三千尾を含め、管内に三十五万尾を放流する予定です。

また、魚族資源の維持増大が目的のハタハタ・

クロソイ・マガレイ事業の継続と、エゾボラの陸上飼育試験を行い、種苗生産の技術確立を目指します。更に、需要が拡大しているナマコについても、昨年度に引き続き、当町における種苗生産や中間育成の技術確立と放流効果の把握について取り組んでいきます。



管内に35万尾を放流する予定のマツカワ

2 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

(高齢者福祉・介護保険)

当町の高齢者福祉策は、第四期高齢者福祉計画・介護保険事業計画を基本として行い、その計画期は平成二十三年度で終了します。

現在、総人口や高齢者人口などは推計値と大きく差なく推移しており、その高齢化率は平成二十二年十月一日現在、全道平均値と同じ二四・四割となっており、管内で最も低い高齢化率で

す。また、後期高齢化率は全道平均値を一・三割上回っていますが、管内で一番低い状況です。しかしながら、事業費見込みでは在宅サービスの利用が減少傾向にあるのに対し、施設サービス利用が急増するなど施設依存傾向が強まっている状況にあります。

町内では単身高齢者世帯、高齢者夫婦世帯の増加や施設利用希望者の増加など、家族や地域単位での取組みや、町としての恒久的課題として取り組まなければならないことが山積しています。平成二十四年度から始まる第五期計画の策定に向け、これら課題の検証とその対策、そして事業費見込みを含む、保険料算定などの作業を進めていきます。

(障がい者福祉策)

障害者自立支援法の施行に合わせて策定した第一期障がい者計画及び第二期障がい者福祉計画は、平成二十三年度をもって終了します。

障がい者施設などは、平成二十三年度末までに新体系へ移行することになるため、今後の給付費増加も予測されることですが、障がい者施策の基本的事項を定める第二期障がい者計画(六年計画)と、障がい福祉サービス等の必要量を定める第三期障がい福祉計画(三年計画)の策定を、介護保険計画同様に今年度中に策定します。

(保健・医療対策)

昨年十一月に、「子宮頸がん予防ワクチン」「ヒブワクチン」「小児用肺炎球菌ワクチン」が、任意接種ながら「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金」の対象となりました。

これを受けて、二月より、子宮頸がん予防ワクチン接種の費用助成事業を始めたところです。

しかし、全国的に、ワクチン供給量が不足となり、三月三日現在で接種済みの方を除いて、三月四日以後の新規接種受付を停止するように国から通知がありました。追加ワクチンの供給は七月となる見込みのため、接種を希望しながら受けられなかった方の救済もそれに併せることとしたところであり、今後も情報提供を行っていきます。

また、ヒブと肺炎球菌のワクチン接種は、一般内科での接種が難しく、その方法を検討し四月からの実施予定でしたが、接種後の死亡事例が発生したことから、三月五日以後の接種を一時停止している状態です。国の検証結果が示されるには、まだ時間がかかると思われるので、保護者への十分な情報提供を行います。

(診療所の運営)

診療所は、町民の生命と健康を守ることを主眼に置き、一次医療や急性期医療に対応した診療体制の継続、在宅訪問看護や目黒出張診療、更には保健福祉課と連携して公衆衛生予防医療を推進し、疾病の早期発見、早期治療など安心した医療を受けられる環境の整備に努めます。

また、本年度は、十八年間使用したレントゲン一般撮影装置の更新と併せ、画像診断管理システムのの新規導入経費を予算計上しています。本機器の整備により、画像診断のより一層の効率化を図りたいと考えています。

医業収益はたいへん厳しい状況ですが、経費の節減と運営の健全化に努め、地域医療の向上を図ります。

3 安心・安全なまちづくり

(相互協力協定による防災体制の整備)

津波の常襲地帯である当町では、防災体制の確立が急務であり、多方面からの取り組みが必要とされています。このことから、国立大学法人北海道大学大学院理学研究院と幅広い分野において連携、協力関係を深めることを目的として相互協力協定を締結したのを契機に、より災害に強いまちづくりを進めていきます。

なお、同院との連携は、相互の発展に向けた協力支援で、具体的な内容は、「地震・津波防災等の普及啓発」「科学技術・文化の振興」「地域振興」「学校教育・生涯学習」などに関するものです。

(建設土木関係事業)

町道の整備は、「歌別苦別線舗装工事」など、臨時地方法路整備事業を実施します。

町単独の土木事業は、住民の要望を踏まえながら、事業の緊急性、将来的な維持補修などを考慮して、住民生活の安全性、利便性向上のために、計画的に整備を進めていきます。

えりも港の整備については、「長期港湾整備計画」に基づき、既存施設の改良、港湾機能の拡充を進めます。

また、「えりも黄金トンネル」が二月から全面供用となりましたが、引き続き越波防止対策の継続と「目黒トンネル」工事の早期完成を要望すると共に、現在使用している国道の更なる安全の確保、そのほか急傾斜地事業、道路と二級

河川の維持補修、砂防事業、海岸保全事業等の懸案事項についても、早期に実施するよう引き続き関係機関に要望します。



2月に開通した「えりも黄金トンネル」

(公営住宅建設事業)

「えりも町公営住宅長寿命化計画」に基づく大和C団地の建て替え事業を行うため、建設予定地の地質調査と設計委託をします。また、国から取得した新浜の用地は、町職員住宅（二棟八戸）を新築します。

(水道事業)

水道水を安定供給するため、施設の点検整備、情報管理、維持管理を徹底し、必要最小限の修繕を行いながら、現施設の延命化を図り、できる限りの措置を講じます。

西部簡易水道は、浄水場の仕切弁と原水濁度計の更新を行うと共に、送水管百六十軒を更新

します。東部簡易水道は、継続中の送水管更新工事を実施すると共に、町内全域で検漏メーターの更新工事も継続して行います。

(下水道事業)

下水道事業及び漁業集落排水事業は、現在まで全体計画面積一五二・七haのうち、下水道事業一〇三ha、漁業集落排水事業一〇・八ha、合計一三・八haの整備を終えています。

下水道事業は、平成十四年度から一部供用を開始して以降、平成二十一年度からは歌別地区の漁業集落排水施設も供用を開始し、その主な役割であるトイレの水洗化、生活排水の浄化、公共水域の水質保全などに寄与しながら、快適な生活環境の改善を図っています。

現在の下水道の接続状況は、全対象戸数千二百三十三戸の六六・八割に当たる八百一戸が接続を完了していますが、今後も接続の推進を重点目標として、事業効果の拡充を図ります。

(交通安全運動の推進)

昨年の北海道の交通事故死者数は二百十五人となり、「六年連続の全国ワーストワン回避」の目標を達成できず、残念な結果となりました。

当町では、平成十八年十月十日から「交通事故ゼロの日」を継続中であり、昨年十一月十七日に千五百日を達成し、道知事から感謝状と道交通安全推進委員会会長から表彰状の伝達がありました。

本年も浦河警察署を始め、関係機関の指導・協力を得て交通安全運動に取り組み、交通事故の根絶を目指して町民総ぐるみで平成二十四年三月三十一日の二千日を目指して、交通安全運動の啓発

に努めます。

4 みんなで歩む協働のまちづくり

(過疎対策・地域活性化)

過疎化、高齢化、少子化の進行は、まちづくりを進めるうえで重要な課題です。昨年十月の国勢調査によると、当町の人口と世帯は人口五千四百十五人、世帯数二千四十三世帯であり、平成十七年の本調査に比べ、三百八十一人、五十八世帯の減少となりました。

これらの減少数値は、当町にとって影響があると思っており、このことに対処する思いを新たにしていかなければならないと考えています。その思いから、北海道職員の派遣のもと、地域振興の推進を図るべく、「埋もれた地域資源の利活用を核とした新たな地域づくりモデルの構築」をテーマに地域活性化の諸施策を講じていきます。

派遣期間は原則二年間ですが、当町はもとより生活圏域（広尾町方面等）及び管内全体の地域振興の進展に、大いに期待をしているところです。

(効率的な行財政の運営)

平成二十三年度予算は、一般会計が四十二億六千万円と、前年度当初と比較して三億二千万円、比率で七・〇割減の予算編成となりました。特別会計を加えた合計でも対前年比三億二千二百五十万円、四・八割の減となり、ここ数年來で最小の予算規模です。

この要因は、地上デジタル放送中継局改修事

業の完了と大型の道路改修事業が一旦終了したことよるものです。一方、歳入面では、人口減少による地方交付税や臨時財政対策債の減少が見込まれることなどがその主なものです。

予算編成では、このように大幅な歳入の減少が予想されることから、近い将来必要となる大型事業に備えて予算規模を縮小しましたが、その中で町民の暮らし、健康に直結するソフト面での充実に努めました。

■教育行政執行方針

1 小中学校教育の充実について

子どもたちが将来、社会の変化に対応できる自立した人間として生きていくためには、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付け、それを活用できる学力を育むことが重要です。

そのため、今後実施される学習指導要領に基づいた教育課程の適切な実施、昨年度に引き続き全国学力・学習状況調査実施による課題の把握とその解決に向けて、授業改善を始め、家庭と連携した基本的生活習慣・学習習慣の定着を図ります。

特に、平成二十年度より取り組んでいる「学年×十分」の家庭学習の慣習化を目指します。

特別支援教育については、えりも小学校に特別支援教育支援員一名を継続配置し、児童一人一人の障がいの状態や発達段階に応じた適切な指導や支援に努めます。

教職員の資質向上に向けても、新たに指導主

事を配置し、学校訪問指導を積極的に実施し、校内研修の充実を図っていきます。また、えりも町各教育研究団体の取り組みを助成し、授業研究等を通して、指導力向上を図っていきます。

2 高等学校教育の充実について

高等学校教育については、平成二十二年度入学生から教育課程を改訂し、基礎学力の向上や多様な進路実現を目指す人材育成を進めています。

本年度は、基礎・基本の定着と発展的な学習指導の確立を目指し、中高各教科の連携と中高シラバスの連続性を目標に取り組んでいきます。

また、郷土芸能「駒踊り」の学習、地域行事への参加、職場体験学習、生徒会・部活動を通して、生徒一人一人が、えりも町に誇りをもち、地域や社会に貢献できるよう、元気に学べる学校づくりを進めていきます。更に、国際的な視野に立てる生徒の育成のため、韓国海外研修旅行では、姉妹校との友好交流や自主研修、施設等の見学を通じ、歴史・文化を学ぶ有意義な研修を深めます。

3 中高一貫教育の推進について

平成十六年度から展開している中高一貫教育は、学力向上を軸に各教科部会などの密接な連携のもとで、成果を上げています。

本年度は、更なる発展を目指し、教育活動の内容や経過を示す「シラバス」の連続性の確立や学習指導の連携強化による基礎学力の定着を図ります。また、中高六年間を継続して取り組む、環境

教育やキャリア教育、部活動の連携強化を図っていきます。

4 社会教育の充実について

社会教育は、町民憲章の具現化を目指す「まちづくり」運動を基にして、多様な学習機会の提供に努めています。しかし、町民一人一人がうるおいのある生活や活力あるまちづくりを進めていくため、いつでもどこでも、町民が主体的に学ぶことができる、生涯学習社会の形成が求められています。このことを踏まえ、各関係団体と連携を図りながら、それぞれの生活に応じた学習機会の提供に努めていきます。

また、学んだ成果を生かす場として、生涯学習推進協議会を中心とした「出前講座」や「まなびの広場」「学校支援」などへの派遣を積極的に進めます。

5 文化の振興について

社会構造の変化や価値観の多様化から、豊かさやうるおいのある生活に住民の意識が高まる中で、心の豊かさが一層求められています。

そのため、町民が積極的に参加できる文化活動の環境づくりを整えるとともに、文化団体・サークル活動の支援を図り、発表の機会や鑑賞機会の拡充と各種文化情報の提供に努め、地域に根ざした芸術文化の振興を図ります。また、町外からの文化芸術活動なども積極的に受け入れ、文化の機運をより一層、高めます。

6 郷土資料館について

全国的にも地域特有の文化、歴史、自然が注目され、地域振興、観光振興につながると重要視されています。郷土資料館では、えりも地域特有の食文化を含めた生活文化、漁業文化、歴史、自然など、地域に眠っている地域学習資源を掘り起こすための調査研究を行い、学校教育や町民、観光客などにその情報を提供します。また、陶芸活動については、芸術文化活動の一端として、今後も体験陶芸教室や出前講座などで、創作活動に接する機会を提供します。

文化財保護については、昨年八月、国文化財名勝ピリカノカに指定された「襟裳岬」の標識を設置し、パンフレットを作成し周知します。町指定文化財「猿留山道」についても、安全性

確保のため、標識などを関係機関と協力し設置していきたくと考えています。町指定無形文化財「えりも駒踊り」「襟裳神楽」の郷土芸能については、保存会と連携し後継者育成に取り組みます。

また、町内に六十七か所登録されている埋蔵文化財保全に努めます。

7 スポーツの振興について

スポーツは、心豊かな人格の形成や人と人との交流に大きく貢献するものと考えます。

このことを踏まえ、平成二十三年度は、各スポーツ関係団体と連携を図りながら、健康づくりを目的としたスポーツ教室の開催やスポーツ交流人口の拡大、競技力向上を目的とした、各種大会の開催に努めていきます。

東北関東大震災 義援金の受付について

1 期間

9月30日まで

2 受付方法

(1)窓口受付

NHK放送局窓口／中央及び各都道府県共同募金会／日本赤十字社本社及び各都道府県支部

※えりも町では、社会福祉協議会が受付しています。

(2)郵便振替

・中央共同募金会

東北関東大震災義援金

00170-6-518

・日本赤十字社

東北関東大震災義援金

00140-8-507

※通信欄に「東北関東大震災義援金」と記入すると、手数料は無料です。

3 その他

募集は現金に限ります。物品は受付できません。

4 お問い合わせ

中央共同募金会 ☎03-3581-3846

日本赤十字社 ☎03-3437-7081

えりも町社会福祉協議会

☎2-2116

春の

全道火災予防運動

が始まります

『消したかな』あなたを守る
合言葉』をスローガンに、四月二十日から三十日までの十一日間、春の全道火災予防運動が実施されます。

この運動は、火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるに当たり、住民のみなさんに火災予防の意識を一層高めていただくことにより、火災の発生を防止し、火災から尊い生命と貴重な財産を守ることを目的としています。

えりも消防支署では、火災予防啓蒙の一環として、期間中、毎日十二時五分に全地区一斉に防災無線のサイレンを吹鳴します。

春の訪れと共に空気が乾燥し、風が強く吹くなど小さな火元から火災になることが多い季節です。特に子どもの火遊び、火の点いたタバコの投げ捨て、

12時05分にサイレン吹鳴

4月20日から30日まで



たき火の不始末、野外での焼却による飛び火、更にこの時季は、山菜採りなどで入林する機会も多くなり、山火事や野火が心配され、人的な不注意や油断などにより発生する火災が多くなります。

火気の取り扱いには十分注意しましょう。

火入れは消防に連絡してから

これから暖かくなるにつれて、枯れ草や枝木などの焼却を

する方が増えてくると思いますが、火入れをする際は、消防署（☎二二〇三八）に連絡してから行ってください（火入れの煙を火事の煙と間違えて消防署へ通報する場合があります）。

また、野外での廃棄物（家庭ごみなど）を焼却することは、ダイオキシン類の発生による住民への健康被害、自然環境への悪影響が懸念されるため、やめましょう。

住宅用火災警報器の訪問販売にご注意を

えりも町の場合、六月一日より住宅用火災警報器の設置が義務付けられます。法律などが改正され、設置義務の期限が迫ってくると共に、悪質な訪問販売業者による被害が発生しています。

「消防署の方から来ました」、「消防署の指定業者です」などと言って、住宅用火災警報器の購入を強引に勧めるような業者には特に注意してください。消防署では、火災警報器を一切販売していません。

襟裳岬はどこにある？

郷土資料館講演会



古地図20枚を紹介した高木講師

二月二十四日、郷土資料館主催の講演会「近世蝦夷地図の変遷〜江戸期の地図に見る北海道の姿〜」が、北海道史研究協議会会員の高木崇世^{たかき たかし}さんを講師に招き、福祉センターで開かれました。

現存する最古の北海道地図は、一六四四年に松前藩が製作したもので、北海道は楕円の形をしています。襟裳岬はすでに描かれています。襟裳岬はすでに似ても似つかぬ姿で、訪れた二十人の参加者は、興味深げに眺めていました。

北大と協定結ぶ

地震、津波に備え—

相互協力協定調印



協定書に調印した岩本町長と北大大学院理学研究院の山口院長（左）

3月1日、えりも町と北海道大学大学院理学研究院（山口佳三院長）が、地震や津波に関する調査研究などを目的として、相互協力協定を北大で締結しました。

北大と当町の関わりは古く、昭和46年に地震予知研究を目的とした「地殻変動観測所」を設置したのを始め、えりも港内の潮位観測と役場への潮位計データ配信などを行い、昨年11月には地震津波に関する防災講演会「サイエンスカフェ in えりも」を開催しました。

今回の協定によって、地震津波防災に関する普及啓発活動を行うなど、町の防災活動を支援するほか、地震津波の調査研究を進めるとしています。

調印式で山口院長は「えりも町は、津波に対する関心が非常に強い。今回の協定は豊かな成果となり、地域社会の発展に貢献できる」と話し、岩本町長も「えりも町は過去の津波被害もあり、その恐ろしさを痛切に感じている。協定締結で、より災害に強いまちづくりを進めていきたい」と決意を語りました。

道税に係る 災害減免について

災害による被害を受けた場合、道税の減免を受けられる場合があります。

なお、被害を受けた程度により措置が異なる場合があります。また、被害の状況を確認できる書類（罹災証明書など）が必要になる場合があります。詳しくは、左表のお問い合わせ先まで。

税目	減免等の内容	問い合わせ先
個人事業税	事業所得額及び資産の損失状況により、一部又は全額が減免となる場合があります。	日高振興局地域政策部 税務課課税係 ☎0146-22-9062
不動産取得税	取得した不動産がその取得後3か月以内に災害により被害を受けた場合、その被害の状況に応じて減免されます。 災害により滅失し、又は損壊した不動産の所有者が、その不動産を復旧するため、又は代替として災害のあった日から2年以内に不動産を取得した場合、その被害の状況に応じて減免されます。	
自動車税	（平成22年度分）自動車が災害により被害を受け、当該自動車の修理費（保険金等により補填される額を除く。）が自動車税の年税額を超える場合、年税額の1/2を限度として減免されます。 （平成23年度分）災害により自動車が損壊又は滅失し、当該自動車がそれ以降使用できない状態となった場合などは、課税しない措置となります。	日高振興局地域政策部 税務課納税係 ☎0146-22-9063 ※自動車税・自動車取得税の提出書類については、日高振興局を経由して課税担当総合振興局などに送付します。
自動車取得税	自動車を取得してから1か月以内に災害による被害を受け、修理をしても使用できない程度に損傷した場合に減免されます。	（室蘭ナンバーの課税担当）胆振総合振興局 課税課自動車税係 ☎0143-24-9581

町職員の人事異動

四月一日付けで、町職員の人事異動がありましたので、お知らせいたします。

■係の新設・廃止・移管

◎企画課に「まちづくり推進係」を新設します。

◎建設水道課の「水道係」「下水道係」「水道工務係」を合体し、「上下水道係」を新設します。また、「建設機械係」を廃止し、「建設管理係」に業務を移管します。

■町職員人事異動

《総務課》課長兼行財政改革推進室長兼選挙管理委員会事務局長く大西正紀▼課長補佐兼行財政改革推進室長補佐兼財政係長く福沢昌幸▼情報管理係長兼行革担当兼選挙管理委員会書記長く神田朋晃▼財政係兼情報管理係兼選挙管理委員会書記く神保太輔

《企画課》広報係長兼防災係長く脇坂祐輔▼まちづくり推進係長く藤井琢英▼防災係兼まちづくり推進係く運上英幸▼振興係兼防災係兼広報係兼まちづくり推進係く竹重寛
《税務課》課長く神田修▼課税係長く武田健太郎▼課税係く佐々木大輔▼納税係長く谷辻洋▼納税係く伊藤

圭輔、荒井傑

《出納室》会計管理者兼出納室長く川崎茂▼出納係長く山田真紀

《町民生活課》社会係兼年金係く三浦香菜子▼環境生活係兼社会係く中澤圭太▼清掃係く脇坂久也

《保育所》中央保育所く大坂友真、橋本百合香、長内恵美▼えりも岬保育所く佐原しのぶ▼庶野保育所く岩間千夏、小林愛

《保健福祉課》課長兼地域包括支援センター長く高橋誠也▼課長補佐兼医療給付係長く白川富士雄▼医療給付係く角地舞美▼介護福祉係兼保健予防係兼介護支援係兼居宅業務係く三国元大

《産業振興課》課長補佐兼農業委員

会事務局長く佐々木正利▼課長補佐兼水産係長く上島正人▼課長補佐兼風の館管理係長く石川慎也▼栽培漁業係く高坂一步▼農林係長兼農業委員

会庶務係長兼農地係長く吉田智巳

▼農林係兼農業委員会庶務係兼農地係く佐々木雅也▼商工観光係長く木村実▼風の館管理係く野澤省史

《建設水道課》課長く福沢幸宏▼技術長兼建築管財係長く中野稔▼専門技師兼上下水道係長く幾田健一▼土木係長く宝金友明▼土木係く富沢誠

▼建設管理係兼建築管財係く岩間孝太▼建築管財係く久保美津之▼上下

水道係く石橋香奈枝、鈴木崇晃、澤田隼行

《国保診療所》事務長補佐兼総務係長く二本柳正伸▼放射線係長く田中孝幸

《生涯学習課》課長く吉田元喜▼課長補佐兼社会教育係長く渋谷浩二▼課長補佐兼文化財係長く中岡利泰▼学校管理係長く増田仁▼体育振興係長く大西俊紀▼学校管理係兼学校教

育係く横山由季▼社会教育係く横嶋賢二▼文化図書係く関川幸子

《えりも高校》事務長く斎藤昌文

《議事事務局》事務局長く泉紳一▼議事係長く宝金郁子

《退職者（三月三十一日付）

津国誠一（総務課長）▼太田義憲（保健福祉課長）▼齋藤敏克（会計管理者）▼斎藤勲（生涯学習課長）▼熊崎幸男（建設水道課長）▼渡辺英樹（税務課長）▼鈴木精一（農業委員会事務局長）▼上田勝人（建設水道課建設機械係長）▼山谷孝俊（建設水道課建築管財係）▼沼田美紀子（中央保育所保育士）▼森梢（中央保育所保育士）

水道係く石橋香奈枝、鈴木崇晃、澤田隼行

《国保診療所》事務長補佐兼総務係長く二本柳正伸▼放射線係長く田中孝幸

《生涯学習課》課長く吉田元喜▼課長補佐兼社会教育係長く渋谷浩二▼課長補佐兼文化財係長く中岡利泰▼学校管理係長く増田仁▼体育振興係長く大西俊紀▼学校管理係兼学校教

育係く横山由季▼社会教育係く横嶋賢二▼文化図書係く関川幸子

《えりも高校》事務長く斎藤昌文

ヨガで健康増進&理想のボディを目指ませんか!?

4月よりヨガサークル活動開始!!



活動日時：毎週水曜日 18:30~20:30

場所：福祉センター

月会費：1,000円

※性別は問いません。

※ヨガマットをご用意ください。

お問い合わせ・お申し込み先
福祉センター 鍵谷まで (☎2-2526)

山中キヨさんの

百四歳を祝って

やまと苑で誕生会

二月二十五日、町内最高齢の山中キヨさんが、翌日に百四歳の誕生日を迎えるに当たり、入所している特別養護老人ホームやまと苑で誕生会が開かれました。

山中キヨさんは、明治四十年生まれ。五年前から同苑に入所しており、食事もちちんと食べて元気だということ。誕生会前には大好きな歌



104歳の誕生日を迎えた山中キヨさん

謡曲「芸者ワルツ」を口ずさみ、お祝いに駆けつけた次男の卓さん夫妻や介護士を喜ばせました。

高校模範卒業生を表彰

えりもロータリークラブ

えりもロータリークラブ（山科幸一会長）は三月三日、えりも高校（本庄幸賢校長）の今年春の卒業生四人を優良青少年として表彰しました。

同クラブでは、校長の推薦を受けて、在学中の成績が優秀であつた卒業生を表彰しており、今年度は角地舞美さん、植木健史郎さん、銅谷千穂さん、上島美香さんが選ばれました。

日高信用金庫えりも支店で表彰式が行われ、山科会長から表彰状と記念品が贈られました。植木さんと上島さんは都合で欠席しました。



税のポスターで表彰

えりも中から4人

道主催の「第二十五回全道中学生の税をテーマにしたポスター」で、えりも中学生の作品が入賞し、伝達式が三月十一日、同校（木下英利校長）で行われました。

入賞したのは、道知事賞の中野未来さん（一年）、道教育

長賞の佐藤千香さん（二年）、日

高振興局長賞の三浦百合香さん

表彰を受けた（右から）中野さん、佐藤さん、三浦さん、斉藤さん

さん（二年）、日高振興局長賞の三浦百合香さん

（二年）、日高教育局長賞の斉藤涼夏さん（一年）の四人で、同振興局の田中地域政策部長から表彰状と副賞が手渡され、木下校長から祝福されました。

本コンクールは、道税への理解を深めてもらうことを目的に行われており、道内百七十六校から、四千八百八十点の応募がありました。



表彰された（右から）銅谷千穂さんと角地舞美さん

あつまれ！一歳児
すくのび



「すくのび」は、「すくすく
のびのび育って」の願い
を込めたタイトルです。



かんだりゅうのすけ
神田琉之介くん
(淳・梢)
H22.4.18生(東洋)

イタズラが大好きで、
甘えん坊な男の子です。



いぬやま かのん
犬山佳音ちゃん
(拓也・奈美子)
H22.4.15生(本町)

音楽大好き!!手を叩
き、体でリズムを
とって遊んでいます。



えちごりゅうが
越後龍雅くん
(茂樹・伸子)
H22.4.7生(庶野)

お姉ちゃんと一緒に
ダンスをするのが大
好きです。



おがわあやか
小川采夏ちゃん
(宏和・梨紗)
H22.4.21生(新浜)

たくさん食べて、た
くさん遊んで、スク
スク育っています。



たにつじり お
谷辻里桜ちゃん
(洋・利恵)
H22.4.19生(新浜)

お姉ちゃんと遊ぶの
が大好きで、いつも
元気いっぱい遊んで
います。

障害基礎年金の 子加算範囲が 拡大されます

■子加算の範囲の拡大
「国民年金法等の一部を改正
する法律」により、障害基礎年
金の「子加算」の範囲が拡大さ
れました。

「子加算」は、障害年金の受給
者に生計を維持する配偶者やお

子さんがいる場合、障害等級が
一級又は二級に該当する方が受
給できるものです。

これまで、「障害年金を受
ける権利が発生した時点で、生
計を維持する配偶者やお子さん
がいる場合」に受給できました
が、四月以降は、「障害年金を受
ける権利が発生した後に生計を
維持する配偶者やお子さんがい
る場合にも届出によって加算を
行う」とされました。

なお、四月一日前から受給権
発生後に生計を維持する配偶者
やお子さんがいた場合は、法が

施行されてから加算の対象とな
ります。

■子加算の運用見直し
子加算の範囲拡大に併せ、そ
の運用についても見直しがされ
ました。

児童扶養手当は、お子さんが
障害基礎年金の子加算の対象で
ある場合は支給されませんが、
四月以降は手当額が子加
算額を上回る場合は、児童扶養
手当を受給できることになりま
す。ただし、その場合は年金受
給権者とお子さんの間に生計維
持関係がないものとして取り扱
いは外れます。

○児童扶養手当と障害年金の子加算の間で受給 変更ができる場合

両親の一方が児童扶養手当法施行令で定める
障害（国民年金又は厚生年金保険法1級相当）
の状態にあることで、配偶者に支給される児童
扶養手当と障害年金の子加算で受給変更が可能
となります。

○児童扶養手当と障害年金の子加算の間で受給 変更ができない場合

母子世帯や父子世帯の方は、児童扶養手当と
障害年金の子加算で受給変更ができません。

■問い合わせ先

- 「障害年金加算改善法」について
日本年金機構 苫小牧年金事務所
☎0144-56-9003
- 「児童扶養手当制度」について
役場町民生活課 社会係
☎2-4621

● 今月のおすすめ



完
子どもへのまなざし

佐々木 正美

「気持ちが安らぎ、
勇気をもらえる」と好評の育児書シリーズ
完結編。子どもたち
を取りまく現状、人間関係

の発達と課題、育児などについて語っています。
また、近年無視できなくなっている発達障害や
自閉症の子どもたちについても取り上げ、共に
生きる社会を考えます。子育てに関するさまざま
なエピソードも収録。

《 一般書 》

■読書力アップ！学校図書館のつくり方

赤木かん子

■絶滅した奇妙な動物 2

川崎悟司

■スゴイ！と言わせる乾杯・献杯・中締めのみあい
さつ

主婦の友社／編

■西巷説百物語

京極夏彦

■昭和の刀工 天野助六の生涯

菊地正治

《 児童書 》

■ちびまる子ちゃんの春夏秋冬教室

関根健一

■星と宇宙のふしぎ 109

永田美絵

■13歳までに伝えたい女の子の心と体のこと

やまがたてるえ

■親子で楽しむこどもお手伝い塾

辰巳 渚

■てんのおにまつり

宮崎 優、宮崎俊枝

《 おしらせ 》

図書室は、平成23年度からコンピュータ化
(本の管理や貸出等)に向けて準備作業を行います。
コンピュータの導入は開館しながら行いますが、
ご利用の本で返却期限が過ぎているものなど
がありましたら、ご返却くださるようお願いいた
します。なお、図書室をご利用の際、登録作業
などのため、すぐには貸出を受けられない場合
もありますが、何かありましたら係員にご相談願
います。



町食生活改善推進協議会
が主催した「おやこの食
育教室」(2/27)

◆ 子育てテレホンサービス ◆

☎ 2-3715

【小学生期】

仕事のおそい子ども 4/7～4/13

【中学生期】

長電話をする子ども 4/14～4/20

【親の学習】

思いやりのある子どもに育てる
4/21～4/30

【幼児期】

子どもの発達を促すおもちゃの選び方
5/2～5/10

木はるどなの影はゆるやかに伸び春隣り
湯タンポや老いの心身温くして
五感ひとつの衰へおとろを知る寒の入り
二月尽く手帳に予定埋まりけり
世ひだかねに疎くなりるて今日の雪を搔く
日高嶺ひだかねや抱えきれざる雪を搔く

長岡 青風 鈴木 周子 佐々木凌子 佐々木蓉子 川村 和子 小山内崇峰



(えりも吟社)

こんにちはは保健師です

糖尿病を予防しよう！

早期発見・早期治療が大切

一 糖尿病が急増しています

糖尿病は国民病と言われるほど増加しており、四十歳以上の四人に一人が糖尿病又は糖尿病の疑いがあります。町の健診を受けた八割の方は糖が高めとなっており、えりも町でも糖尿病が増えてくることとが充分予測されます。

二 怖い糖尿病の合併

糖尿病は自覚症状がないまま、進行していきまます。血糖が高いまま放置していると、眼、腎臓、神経などの毛細血管や、脳や心臓の血管が動脈硬化を起こし、さまざまな合併症を招きます。

糖尿病が進行してくると、のどが渇く、尿の量が増える、疲れやすいなどの症状が出る場合があります。このよ

うな症状があるときは、すぐに病院へ行きましょう。

三 糖尿病を予防するために

年に一度の健康診断を受け、糖尿病の兆候がないかを確認をしましょう。保健師・栄養士が健康のサポートをしますので、お気軽にご相談ください。

糖尿病を防ぐために

休 息	禁 煙	運 動	肥 満	食 べ 方
・ ストレスや疲労は、血糖値を上昇させる	・ タバコは血管を傷つけるため、禁煙を	・ 筋肉を使うと、糖の消費がアップ	・ 標準体重に近づける	・ 三食規則正しく ・ 早食いをしない ・ 腹八分目 ・ 野菜は毎食とる

4月の保健メモ

(連絡先 役場保健福祉課 保健予防係 ☎2-4630)

行 事	実施日	時 間	会 場
麻しん風しん混合予防接種	5日(火)・19日(火)	15:30~16:00	町立診療所 (要予約)
乳幼児健診	12日(火)	8:50~10:50	保健センター (個別通知)
日赤巡回診療	13日(水)、27日(水)	13:30~14:30	保健センター (要予約)
特定健診・がん検診	18日(月)	6:00~7:45	庶野生活館 (要予約)
		8:30~8:45	目黒生活館 (要予約)
特定健診・がん検診	19日(火)	6:00~7:45	えりも岬林業総合センター (要予約)
三種混合防接種		13:30~13:50	保健センター
B C G 予防接種		13:50~14:00	保健センター
ポリオ予防接種		14:00~14:20	保健センター
特定健診・がん検診	20日(水)	6:00~9:15	保健センター (要予約)
特定健診・がん検診	21日(木)	6:00~9:15	保健センター (要予約)
二種混合予防接種		14:00~16:00	庶野診療所 (要予約)

●町立診療所

麻しん風しん混合予防接種
接種日前週の金曜日までに保健福祉課保健予防係 (☎2-4630) へ予約が必要です。

●特定健診・がん検診 (前日まで予約受付中)

予約を満たしていない時間帯があります。ご希望の方は健診前日まで申し込みができますので、お問い合わせください。

4月19日のヒブ・肺炎球菌予防接種は行いません。開始が決まりましたら、個別に通知します。

●庶野診療所 (☎4-2219)

三種混合/B C G/三種混合/麻しん風しん混合予防接種

①実施日……毎週月・木曜日
14:00~16:00
※接種には、予約が必要です。

●浦河日赤病院 (☎0146-22-5111)

麻しん風しん混合予防接種

①小児科外来申し込み……1期 (1~2歳)・2期 (小学校入学前1年間の小児)・3期 (中学1年生の年齢に相当する者)
②医事課申し込み……4期 (高校3年生の年齢に相当する者)

お知らせ



しんきんの災害復旧ローン

日高信用金庫は、東北地方太平洋沖地震により被災を受けた個人の方を対象に「災害復旧ローン」の取扱いは開始しました。また、法人及び個人事業主については「東北地方太平洋沖地震災害復興特別融資」を取り扱っています。お気軽にご相談ください。

- ▼名 称 災害復旧ローン
- ▼取扱期間 九月三十日まで
- ▼資金使途
 - ①住宅の補修・修繕費用
 - ②自動車の修理・買換費用
 - ③家具・家電等の修理・買替費用
 - ④除雪関連の費用
 - ⑤すでに同金庫よりお借りしている、しんきん保証基金保証による個人ローンの借換資金及び借換に伴う

手数料(①～④のいずれかと合わせた申し込みに限りです)



- ▼融資金額 五百万円以内
 - ▼融資期間 十年以内(うち元金据置六か月以内)
 - ▼融資金利率 年一・六割(変動金利)
 - ▼返済方法 毎月元利均等返済
 - ▼保証人 社団法人しんきん保証基金が保証しますので、原則不要
 - ▼担保 不要
 - ▼その他 審査の結果によっては、ご希望に添えない場合もあります。あらかじめご了承ください。
- 詳しくは、日高信用金庫えりも支店(☎二二二三一一)までお問い合わせください。

自衛官募集相談員の紹介

- 自衛官募集に関する一般的な説明や紹介をする平成二十三年度の「自衛官募集相談員」は次の方々です。
- 植村昭重さん ☎二二三九二二
 - 大坂ひさのさん ☎二二三二二四

●弁護士相談

弁護士相談センターでは、次のとおり相談を受け付けています。相談

には予約が必要です。

- ▼浦河相談所 四月十四日 十三時～十六時
 - ▼静内相談所 四月十三・十八・二十・二十五・二十七 十三時三十分～十六時三十分
- 予約受付 月～金曜日 十時～十六時
☎〇一四六―四二―八三三三

♡ご厚志に感謝します

- 伊藤寿幸さん(笛舞) やまと苑へ 五万円
- 下笛舞自治会へ 五万円
- 老人クラブ連合会女性部会 やまと苑へ タオル、ウエス等
- ダンボール四十九箱分
- えりも漁協本町女性部 やまと苑へ フェイスタオル四十二枚、ウエスほか
- 吉田千代志さん(笛舞) 笛舞自治会へ 五万円
- 徳光時計店 光の園幼稚園へ 文房具一式
- えりもやませの会 やまと苑へ タオル七十一枚、ウエスほか
- 神田光照さん(東洋)

「ご寄付

- 東洋第三自治会へ 三万円
 - 大井美恵子さん(大和) 大和第一自治会へ 三万円
 - 大和第二自治会へ 三万円
 - 大和婦人部へ 二万円
 - 本間初雄さん(大和) 西えりも連合自治会へ 五万円
 - えりも町商工会女性部 交通安全運動推進委員会へ 新入学児童交通安全の鈴
- 「ご寄付」
- ふるさと納税
 - 山崎孝行さん(札幌市) 三万円
 - 小助川弘美さん(福岡県北九州市) 二十万八千円
 - 高野よりさん(札幌市) 十万円
 - 湯浅悠紀夫さん(札幌市) 二万円
 - 鈴木陽子さん(兵庫県洲本市) 五万円
 - 田中忍さん(神奈川県横浜市) 五万円
 - ◎災害見舞金
 - (株)北弘電社(札幌市) 二十万円
 - 大洲市友好都市交流促進協議会(愛媛県大洲市) 三十万円
 - 本間初雄さん(大和) 五万円
 - ◎笛舞ふれあい館へ 伝法英司さん(笛舞) 大型テレビ一台

「海の生き物たち」

配布中です



えりも町郷土資料館が発行した冊子「海の生き物たち」は、えりも町沿岸に生息する海藻、磯の小さな動物、プランクトン、海の鳥、海の哺乳類、魚類、砂浜の昆虫などをまとめたものです。

カラー四十四ページで、海岸の生態系の豊かさ（多様性）を紹介しています。

三月下旬ごろより下記にて無料配布しています。

■無料配布場所

えりも町役場、えりも町郷土資料館、えりも町福祉センター図書室、町内各郵便局、えりも漁業協同組合各事業所

■送付を希望する場合

A4の冊子が入る返信用封筒に、一冊二百十円、二冊二百九

十円、三〜五冊三百四十円の切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を記入の上、別の封筒に入れ、下記住所まで送ってください。

※六冊以上の場合送料をお問い合わせください。

返信用封筒送り先

〒〇五八―〇二〇三

えりも町字新浜二〇七

えりも町郷土資料館

■お問い合わせ先

えりも町郷土資料館

☎〇一四六六―二―二四一〇

人のうごき

(平成23年2月28日現在)

近浦	182人	67世帯
笛舞	301人	122世帯
大和	1,082人	458世帯
本町	942人	412世帯
新浜	678人	295世帯
歌別	379人	140世帯
東洋	416人	134世帯
えりも岬	579人	215世帯
庶野	740人	275世帯
目黒	172人	76世帯
合計	5,471人	2,194世帯
(男 2,721人 女 2,750人)		
転入	2人	転出 11人
出生	4人	死亡 7人

税のおしらせ

固定資産税の縦覧制度

あなたの土地や家屋の評価額を確認できます

5月31日までに税務課へ

縦覧制度とは、固定資産税の納税者が、自分と他の人が所有している土地や家屋の評価額を比較し、その評価が適正かどうか判断できるようにした制度です。期間は5月31日まで。

問い合わせ先

税務課 ☎2-4620



4月の行事

29日	24日	23日	20日	14日	10日	8日	7日	6日	4日
温水プールオープン	町議会議員選挙投票日 (町内9投票所/7時〜19時)	スポーツ公園オープン	百人浜オートキャンプ場オープン	運動免許証更新講習 (福祉センター/優良13時〜一般14時〜)	風の館町民無料開放(風の館/9時〜17時)	えりも高校入学式(えりも高校体育館/13時30分〜)	えりも中学校入学式(えりも中体育館/9時〜)	篠野・東洋・えりも岬・笛舞・東洋・えりも岬・篠野・えりも小学校入学式(各小学校体育館/笛舞小・東洋小・えりも岬小10時〜・篠野小10時30分〜・えりも小11時〜)	中央・庶野・えりも岬保育所入所式(中央・庶野保育所9時30分〜・えりも岬保育所10時30分〜)